

令和6年9月定例市議会提出案件について

補正予算関係

一般会計・特別会計 補正予算総額 1,475,022千円
【債務負担行為 939,174千円】

主な内容

○ 災害から命を守る（南海トラフ地震等の大規模災害に備えた防災・減災対策の推進）

（1）民間建築物の耐震改修工事の支援を拡充します

38,478千円【住宅政策課】

民間建築物の耐震改修工事に対する支援について、能登半島地震以降、国全体で申込みが増加し、国の市への補助が減額され、今年度、多数のキャンセル待ちとなっている状況を踏まえ、早期に耐震改修が行えるよう支援を市独自で拡充し、キャンセル待ちの方への支援を行います。

（2）「防災ラジオ」の無償貸与台数を増やします

2,027千円【地域安全課】

令和6年能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報発表などの影響により、市民の防災意識が高まったことから、令和6年度に予定していた貸与台数を増やし、防災情報の伝達手段の確保を図ります。

○ その他主要事業

（3）不妊治療助成制度を拡充します

10,055千円【地域保健課】

県の補助事業が本市も対象となり、生殖補助医療（保険適用）と併用して実施された先進医療に要した費用に対して、不妊治療の経済的負担を軽減し、より治療を受けやすく、また少しでも安心して治療に専念できるよう、助成を行います。

（4）野犬対策を強化します

1,656千円【生活保健課】

野犬が多く生息する地域を中心に、早朝等における捕獲活動や改良型捕獲檻の導入などにより、野犬対策を強化します。

(5) 公共施設への太陽光発電設備等の導入を進めます

58,750千円【環境政策課】

市の施設の屋根に太陽光発電設備等の管理を行う事業者が太陽光発電設備を設置し、そこで発電された電力を市に有償で提供するPPA方式を活用し、公募で選定した事業者に対して設置費の一部を補助し、脱炭素化の推進とレジリエンスの強化を図ります。

(6) 地下水における有機フッ素化合物（PFAS）の検査を開始します

1,144千円【環境政策課】

水道水で実施しているPFOS及びPFOAの検査を地下水検査において検査項目に追加し、13か所の地下水等の実態把握を行い、必要に応じ適切なリスク管理を行っていきます。

(7) 令和7年4月開校に向けて夜間中学校を整備します

64,973千円【教育政策課・教育施設課・教育研究所】

夜間中学校を開校するにあたり、教育環境を整備するため、施設を改修し、ネットワーク環境の整備や必要な図書や物品を準備します。

民間建築物耐震改修促進事業（住宅耐震改修補助金）

民間建築物の耐震改修工事の支援を拡充します

【事業費】 38,478千円

【事業概要】

民間建築物の耐震改修工事に対する支援について、能登半島地震以降、国全体で申込みが増加し、国の市への補助が減額され、今年度、多数のキャンセル待ちとなっている状況を踏まえ、早期に耐震改修が行えるよう支援を**市独自で拡充し**、キャンセル待ちの方への支援を行います。

（予算額）

116,600千円（当初予算額）100件 ⇨ 95,612千円（減額後の予算額）82件
+ 38,478千円（補正予算額） 33件
134,090千円（総事業費） 115件

（支援内容）

旧基準住宅又は平成12年5月以前の新基準木造住宅の耐震改修工事及び耐震補強設計に対する補助金

（積算根拠）

補助上限額 1,166千円 × キャンセル待ち 33件 = 38,478千円



防災ラジオ貸与事業

「防災ラジオ」の無償貸与台数を増やします

【事業費】2,027千円

令和6年能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報発表などの影響により、市民の防災意識が高まったことから、令和6年度に予定していた貸与台数を増やし、防災情報の伝達手段の確保を図ります。

防災ラジオの主な特徴



防災行政無線から緊急情報が放送されると自動起動



避難時や停電時でも使用可能

当初予算 1,000台

200台を増加し、貸与



不妊治療助成制度を拡充します

【事業概要】

【事業費】 10,055千円

県の補助事業が本市も対象となり、**生殖補助医療（保険適用）と併用して実施された先進医療に要した費用**に対して、不妊治療の経済的負担を軽減し、より治療を受けやすく、また少しでも安心して治療に専念できるよう、助成を行います。

※生殖補助医療とは体外受精及び顕微授精による不妊治療のこと。

【助成内容】

1回の生殖補助医療（保険診療）と併せて実施した先進医療に要した費用（自己負担）の**7割を助成**する。

※ただし、上限10万円までとし、助成回数にも上限があります。

【対象】

- ・ 令和6年4月1日以降に終了した治療から適用する。
- ・ 治療開始日の妻の年齢が43歳未満であること。

※そのほか、助成を受けるにはいくつかの条件があります。



野犬対策を強化します

【事業概要】

【事業費】 1,656千円

野犬が多く生息する地域を中心に、早朝等における捕獲活動や改良型捕獲檻の導入などにより、野犬対策を強化します。

【強化内容】

■ 目撃機会の多い早朝等に捕獲活動を集中

■ 新しい捕獲檻、バケツトラップを導入

【新しい捕獲檻】

地面と捕獲檻床面に段差がなく犬の警戒心が少ない改良型捕獲檻等を導入し、捕獲の成功率を向上

【バケツトラップ】

バケツの餌を食べる際に仕掛けが外れ、犬の首にチェーンがかかる仕組みで、捕獲檻を警戒する犬にも使用可能

■ 夜間における保護目的以外の餌やりに対する指導を実施



改良型捕獲檻



バケツトラップ

脱炭素化推進事業

公共施設への太陽光発電設備等の導入を進めます

PPA方式※を活用して市役所東庁舎やコミュニティセンターなどの公共施設に太陽光発電設備等を導入するため、公募で選定した事業者に対して設置費の一部を補助します。

【事業費】 58,750千円



導入の効果

- 再エネ電力の確保による**脱炭素化の推進**
- 停電時の電源確保による**レジリエンスの強化**

※PPA方式について

施設の屋根などに、発電事業者が太陽光発電設備等を設置し、所有・管理を行い、そこで発電された電力を施設側が購入する仕組み。

地下水の有機フッ素化合物(PFAS)の検査を開始します

地下水の検査項目にPFOS及びPFOAを追加し、和歌山市域13か所の地下水等の実態把握を行い、今年度中に結果を公表します。

【事業費】 1, 144千円



検査の目的

和歌山市民の健康への被害を未然に防止するため

※PFASについて

撥水・撥油剤、界面活性剤、半導体用反射防止剤等の幅広い用途で使用されている有機フッ素化合物の総称。PFASの中でもPFOS・PFOAが難分解性、高蓄積性から人の健康に影響を及ぼす可能性が指摘されている。

令和7年4月開校に向けて夜間中学校を整備します

【事業費】64,973千円

夜間中学校を開校するにあたり、教育環境を整備するため、施設を改修し、ネットワーク環境の整備や必要な図書や物品を準備します。

■ 学校物品の購入

教室、職員室、図書室及び保健室等で必要となってくる消耗品や事務備品、生徒用タブレット充電保管庫等を整備

■ 校舎（市立和歌山高等学校）の改修

夜間中学校として使用するための教室等照明のLED化、職員室等の整備

■ 校務支援システムの導入

学籍・指導情報等の管理のための校務支援システムの整備

